

第4回海南市水道料金審議会 議事録概要

開 催 日 時	令和5年1月23日（月） 午後2時00分～午後3時10分
開 催 場 所	海南市役所 2階 第4委員会室
議 事	(1) 料金体系の設定について (2) 料金表の確定について (3) その他

1. 開 会

海南市水道料金審議会条例第5条第2項の規定に基づき、委員の半数以上が出席しているため、会議は成立していることを報告。

2. 議 事

(1) 料金体系の設定について、(2) 料金表の確定について

事務局 (資料に基づき説明)

会長 まずは「(1) 料金体系の設定について」に絞って議論を行う。

委員 多量使用者等の地下水の利用状況はどうか、その地下水利用が給水収益に与える影響はどの程度か、海南市として地下水利用転用への抑制に向けた取り組みはしているのか。

事務局 井田地区内約 100 世帯が地下水を生活用水に利用していると聞いているが、井田地区以外の各家庭・各事業者の状況は把握していない。2点目の料金収入に与える影響については、用途は家事用、口径は 13mm、月平均使用水量は 18 m³/世帯とし試算すると、年間約 300 万円となり、これは給水収益全体の 0.31%であることから、地下水利用による影響は大きくないと考えている。3点目の地下水使用抑制に向けた取り組みについては、現時点では具体的な検討には至っていないが、今回の改定では、平均改定率を極力低く抑えていることから多量使用者等の地下水転用の抑制にも一定の効果があるのではないかと考えている。

委員 国は他の水道事業体との広域連携を推奨しているが、海南市では料金改定のみならず他の水道事業体との連携等は検討したのか。

事務局 現在、県が水道広域化推進プランの策定に取り組んでいるが、海南市としては、室山浄水場をはじめ老朽化が著しい施設・管路への対応が急務であること、また以前に和歌山市と協議を行い、その経過を踏まえ、単独で事業を進めていくこととしている。和歌山市との協議内容に関しては、和歌山市から余剰となる水道水を購入する用水受水案については、引き続き紀の川から取水した方がコスト面で有利であること、加納浄水場の和歌山市と海南市での共同設置案については、送水時期が最短で令

和 15 年であったことから、更新スケジュールから考えても現時点では広域化は困難であると判断したところである。

委員 国や他の地方事業体等では広域連携を模索されているので、海南市においても、住民のために必要なことは検討していただきたい。

事務局 広域化にはスケールメリットがあると重々承知しており、今後も引き続き協議を継続していきたい。

委員 全国的に用途別から口径別に料金体系を見直す傾向にあることや、用途で異なる料金を設定する明確な基準がなく公平性に欠ける等との理由から、料金改定に合わせて料金体系を見直し口径別料金体系を採用するとの事務局提案については、一定の妥当性があり賛成したい。また、使用者の節水努力が反映され、料金負担の公平性が確保できるとの理由から、提案があった基本水量制度の廃止についても、妥当性があり賛成したい。従量料金の逡増型の料金設定については、負担の公平性確保の第一義的な問題であり、逡増制を廃止し単一の単価にすべきではあるものの、料金改定に伴い一般家庭の少量使用者の負担に配慮する必要があるため逡増型を維持したいとの事務局提案については、少量使用者の生活用水の使用実態に配慮すれば、一定やむなしと考え妥当であることから、賛成をしたい。

会長 ただいまの「(1) 料金体系の設定について」の議論をまとめる。料金体系については、水道の普及に伴い全国的に用途別から口径別に料金体系を見直す傾向にある中、用途別に異なる料金を設定する意義が薄らいできており、また、施設の設備投資や維持管理にかかるコストは水道メーターの口径の大きさに応じて異なることから、費用負担の公平性と料金体系の明確性をより一層確保できる口径別料金体系を採用することとする。基本水量については、使用者の節水努力が反映され、より料金負担の公平性が確保でき、使用水量に応じた料金体系とするため、基本水量は廃止する。従量料金の逡増型の料金設定については、負担の公平性の観点からは逡増度を解消し単一の単価とすることが望ましいが、料金値上げに伴う少量使用者への負担に配慮する必要があるため、引き続き逡増型の料金体系を維持する。これら料金体系の移行・変更時期は、令和 6 年度の料金改定の時期に合わせ実施する。湯屋営業用については、県で入浴料金の上限価格が設定されるなど特別に配慮する必要があることから、用途別の料金体系を存置する。以上でよろしいか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

会長 ただいまの内容を審議会の意見として決定し、この決定事項を前提に「(2) 料金表の確定について」の議論を行う。

委員 口径別料金体系の採用、基本水量の廃止及び逡増型の維持を前提に、料金表について事務局から 2 案の提案があった。案②は、少量使用者から多量使用者までそれぞれの負担に配慮した改定率であり、資産維持費を含めることなく低率での料金改定に努めるという事務局の趣旨から、こ

れまでの財政状況等の説明を踏まえると、住民からの理解も得られやすいと考えられることから、案②を採用するのが妥当である。湯屋営業用についても事務局提案に異議はない。

委員 平均改定率が16%になるように料金の改定を概ね18%とし、0～10㎡が7%の改定ということであるが、この区分の全使用者に占める割合はどうか。

事務局 用途が家事用である使用者の割合について、使用水量0～10㎡の方が約32%。なお、11～20㎡の方が約28%、21～30㎡の方が約24%であり、使用水量30㎡以内の方で大半を占めている。

委員 湯屋営業用のメーター口径は何mmか。

事務局 市内に銭湯が2軒あり、いずれも口径が40mmである。

会長 ただいまの「(2) 料金表の確定について」の議論をまとめる。料金表案①と案②は、いずれも口径別の料金体系で平均改定率16%増を前提とした料金表で、湯屋営業用のみ用途別の料金体系を存置する案となっているが、案②は、案①に比べ、口径20mm以上の基本料金は低く抑えられ、改定率についても口径の大きさや使用水量に関係なく概ね10%台に収まっており、高齢者世帯などの少量使用者や事業者などの大口使用者をはじめ各使用者の負担の激変緩和に配慮した案となっており、料金体系の口径別への移行も概ねスムーズに行えるものと考えられることから、審議会としてはより妥当な案②を採用することとする。湯屋営業用については、基本料金部分の改定は行うものの、その改定率は平均改定率の16%であり、従量料金の単価は据え置かれ、県の価格統制に一定の配慮を行った料金体系となっていることから、この案を採用する。以上でよろしいか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

会長 ただいまの内容を審議会の意見として決定し、次回の会議ではこれまで4回にわたり議論してきた内容を整理し、答申書としてまとめたいと考える。

(3) その他

事務局 第5回は2月21日火曜日の午後2時を予定。

委員 住民向けの広報として、一般家庭における影響を説明することが重要であり、単身世帯やファミリー層、多量使用者や共同住宅の場合など色々なパターンを踏まえて発信してほしい。また、住民の理解を得るための情報提供に関しては、料金改定に至った経緯(例えば、前年までの決算状況、施設・管路の更新・耐震化の状況や今後の見込み、給水量と給水

収益の推移、給水原価と供給単価の乖離の推移など）や、海南市の水道事業の経営の現状（職員数の削減や、業務委託の推進などの事務事業の効率化の取り組み等を含む）を広報紙やホームページ等で住民の方に積極的に分かりやすく発信してほしい。

委員 水道料金とは直接関係がないが、空き家における水道の処置はどうしているのか。

事務局 2か月ごとの検針の結果、使用水量がゼロの状態が続く場合は、（必要に応じ）水道の継続使用の意向確認を行う。電話連絡が取れない場合は案内を郵送したり近隣に聞き取りを行うこともある。（水道料金の納付が確認できない場合は）給水停止を行い、水道部に連絡いただけるよう対処することもある。

委員 水道事業の運営を外国企業に委託せず自前で運営していくのが大前提で、料金改定をしなければ安心安全な水は供給できないと、市民の皆さんにはっきり言った方がいいと思う。人員削減については、スペシャリストの養成も非常に重要だから、闇雲に削減するのではなく、1人でも2人でも若い人を採用し育成していく方がいいと思う。

委員 今回の料金改定は、家計に負担を強いるということではなくて、安心安全な水道事業を運営するためには本当に必要だと、その事業をちゃんと直営で運営することが大事だと示すことが大事である。また、料金改定に伴う企業への影響についてもきちんと広報してほしい。

委員 水道事業の運営を外部委託せずに、安心安全な水をこのまま使用できるのは本当にありがたいことなので、負担が上がることは理解しないといけないと思う。また、本当に理解できるように、この経緯を分かりやすく広報することが一番重要だと思う。

委員 備蓄用の水を海南市が作り、それを一般会計に購入してもらうことで、少しでも水道料金を軽減できるのではないか。またそれは、市にとっても将来の災害対策にとっても良いことだと考えるので、検討してほしい。

委員 市民には室山浄水場を見学してもらい、更新費用としてこれだけのお金が必要だと知ってもらうことも、今回の料金改定について市民の理解を得る1つの方法だと思う。

3. 閉 会